

# 始良校区

## コミュニティ協議会だより

発行 平成29年3月15日  
号数 第6号  
事務所 始良市西餅田 3311-1  
(始良市働く女性の家内)  
電話 73-8389 (火、木、金)

ご意見にお応えしていきます！

会長 大浦地 政 廣



昨年の7月にアンケートをお願いして、貴重な多くの意見をいただきました。少しでも早くお応えしたいとの思いから動いております。

意見の中で多かった富吉商店から蒸気屋までの通学路の交通規制についての要望は、1月19日の市政報告会での回答は、「いろいろの規制措置を行います。」とのことでした。

建昌地域通学路の改善要望については、同じく市政報告会での回答は「要望については5億円相当の金額が必要であるので、スマートインターの開通に併せて通学路の変更を考えている。」とのことでした。

自治会への未加入者対策として、自治会への加入を呼びかける幟旗を作成配布して、各自治会に3本を設置していただきました。また、「自治会に加入しましょう！！」「向こう三軒両隣 みんなで助けあい」の横断幕を作成し、目につきやすい所に掲示していただきました。

校区内の唯一の伝統行事である楠元の「鬼火焚き」の幟旗も作成し、校区内に設置し、鬼火焚きの周知を図る支援を行いました。

また、「校区内に特徴のあるものはないか」と自治会長の皆さん方と、校区内の史跡や名勝などに足を運び把握に努めております。

一年ばかりかけて、校区内の史跡名勝、商店、レストラン、病院、公園などを標示した地図を作製し、皆様にお届けできればと取り組んでおります。今後とも、皆様のご意見とご協力をよろしくお願いいたします。



### 老人と子ども達のふれあい教室

今年も始良小学校三年生児童とのふれあい教室を2月3日の金曜日に実施しました。

117名中11名がインフルエンザ感染で欠席でしたが106名が自分の希望する種目、ブンブンゴマ、ダルマ落とし、竹ぼっくり、巣箱、風車、割りばしゴム鉄砲、水鉄砲、編み物、小物づくり、お手玉、凧、竹トンボの12のブースで行いました。最初は楽しみと不安の入り混じった表情でそれぞれの場所へ、慣れない手つきで悪戦苦闘。23名のゲストティーチャー指導と会話の中で次第に肩の力が抜けて手の動きもスムーズに、そして笑顔が！ 今年も3時限目と4時限目の設定で作成後にゆっくり遊ぶ時間は取れなかったけど、教える側と教わる側の和やかな雰囲気での2時間でした。



その後3学級に移動してそれぞれのクラスで六つの班に分かれて子ども達から配膳のおもてなし、食事をしながらの異世代との今昔物語。当日は節分で給食メニューも豆付きでした。「福は内と口の中へ」テレビを観ながら夫婦で食べるいつもの食事より、無償のサプリメント効果をいただいた気持ちになりました。ごちそうさま。そして楽しい1日をありがとうございました。

ご協力くださったゲストティーチャーの皆さんありがとうございました。

(文責 青少年育成部 中村 學)

## 知っていますか？あいらっ子見守り隊！

本隊は地域住民が自主防犯意識をもち、子ども達の登下校に合わせ、交通指導・あいさつ運動などを行うとともに、行政・警察・学校との連携を密にしながら、子どもたちの安全と平穏を確保することを目的とし、この目的に賛同する者で構成する、との主旨で始良小学校の呼びかけに応じて平成17年度に「あいらっ子見守り隊」が発足されました。(H28年度現在登録隊員数は15自治会の86名となっています)

それまでも学校・保護者・警察等による見守りはなされておりましたが、連日テレビ・新聞等で 交通事故・不審者による被災・いじめ問題・危険な遊び・インターネット等によるトラブルなど、子ども達がさまざまな痛ましい危険に晒されている報道がされています。

核家族の進行と共稼ぎ家庭が普通になってきて 人間関係が希薄になってきている状況の中で「次代を担うたくましい青少年の育成」を実現するにあたり、「地域の子どもは地域で育もう！」との気概で始良小学校の呼びかけに対し先輩有志が結集致しました。

当初は60歳代～70歳代前半の若者だった隊員も、今は70歳代後半～80歳代の初老に入りましたが、子ども達は年年歳歳1年生から6年生、可愛い生徒から逞しい生徒に成長し、伸び行く姿を目の当たりにして、驚きと喜びに浸る毎日です。

下校時には通学路沿いのおじいさん・おばあさんたちが、「こんにちは！」「おかえり！」生徒たちが「こんにちは！」「ただいま！」とお互いに声かけしている光景を良く見ます。私たち見守り隊員のやっていることは「大海の一滴」に過ぎないと思いますが、活動時間帯は登校時6:50～8:00前後、下校時15:30から16:30前後です。

心がけていることは

- ①笑顔での対応
- ②登下校時の交通安全
- ③率先して元気な挨拶の励行
- ④登下校状況の見守り
- ⑤子どもの元気の有無・顔色等の観察
- ⑥重大案件については学校に報告・提案等、



連携を密にして、少しでも生徒・保護者・先生方が安心して自分の1日を全うできる体制づくりの一助となればと、子ども達との関わりを楽しんでおります。

最後に隊員も高齢化が進み減少傾向にあり、下校時の見守りが不十分と思われる、60歳代～70歳代の若い見守り隊員の入隊をお待ちしております。例えば1週間のうち月曜日の登校時だけ又は下校時だけなど、自分の可能な日の可能な時間帯だけでも構いません。

可能な方は所属自治会の会長あてにお申込をお願い申し上げます！

(文責 総務部 松田幸一)



## 見守り続けて12年 (がんばっています)

楠元橋のたもとで、雨の日も風の日も暑いときも寒いときも、始良小の子供達の登校を見守り続けていらっしゃるのは、池島町の大曲 満栄 (78歳) さんです。

朝7時から8時までの1時間たち続けです。車の行き来が多く、信号も付けられない狭い場所です。子ども達がやってくると、片手に横断旗を、もう一方で子供達の肩を抱き、安全を確かめつつ歩道を渡します。毎朝のことですから、危ないと思うことも数多く見てこられたようです。安全運転を心がけている車、速度も落とさず走り去る車、一旦停止をしない車など様々な場面を見てこられました。



右折の合図をして直進して坂を下る車には驚かされたそうです。

大曲さんはいつも静かに子供達を見守り、「おはようございます。」と返ってくる言葉に元気をもらい、子供らの笑顔がうれしいと話され最近、気になることは、自家用車で子どもを送る車を良く見かけることだそうです。親の心がけで、自分の足で登校させたいものです。校区内のあちこちで、見守り隊の皆さんが登校下校の見守りを続けていらっしゃいます。校区民の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします



(文責 総務部 小倉 章)

## 「鬼火焚き」(楠元自治会)・・・今年も大賑わい

今年も、1月7日(土)に楠元自治会で「鬼火焚き」が行われました。

始良校区コミュニティ協議会の支援行事の一つとして、鬼火焚きへの知名度も高まりつつあります。今年も、参加者も200名を超える大型イベントになりました。

小倉楠元自治会長の指揮のもと、年男、年女により18時に点火されました。

勢いよく燃え上がる明かりの下で、「ぜんざい」「豚汁」等が振る舞われ、心身ともに厄払いをして、無病息災・新年の幸運を願うことができました。そして、多くのみなさんとのふれあいの機会に恵まれたことに感謝しています。

初めて参加された方々も「良い新年のスタートができました、ありがとうございました。」「来年も参加させてください。」との声も聞かれました。この良き伝統文化を発展させていきたいものだとの思いを新たにしました次第です。 (文責 福祉文化部 早瀬五男)



## 鬼火焚き

始良小 4年 (楠元) 宝蔵 奏花

始良小に引越してきてから、2回目の鬼火焚きでした。自治会の中では、とても楽しく、みんなが集まる日です。

12月に鬼山をつくりました。竹・木・枝を運んで、最後にロープで縛りました。

1月7日、楽しみにしていた鬼火焚きの日が来ました。夜6時に5年生が火をつけました。その時はすごい迫力で、見ていた人がみんな「オオッ」と言っていました。竹が燃える音がパンパンというので、怖かったです。

友達も来ていたので、一緒に豚汁を食べました。寒い夜だったのに火の近くは暖かくていい気持ちでした。私は、お汁粉を2杯食べました。熱々でしたが美味しかったです。お汁粉を食べ終わったころ、最後の竹がバキバキと音を立てて倒れて燃えてしまいました。

みんな次第に帰っていくので、私たちも帰りました。まだ、火は残っていました。

来年は、5年生になり火をつけることができます。すごい迫力や楽しさや美味しさを体験することができるので、今度もみんな来るといいです。

また来年も楽しみたいです。



## 鬼山作りと鬼火焚き

始良小 6年 (楠元) 久永 奈央

12月18日に鬼山作りがありました。予想以上にたくさんの方が来ていました。

同じ地域に住んでいてもお話をしたり触れ合う機会がないので、鬼山を作っていく中で、多くの人と話すことが出来てとても新鮮でした。

3時間ほどかけて立派な鬼山を作りました。遠くから見ると大きなクリスマスツリーのように、それを自分たちの手で作り上げたのだと思うと、とてもすがすがしい気持ちになりました。

年が明けて1月7日はいよいよ鬼火焚きの日でした。雨の心配もあったけど、予定通り点火することになりました。暗くなるにつれてどんどん人が集まってきて、鬼山作りのとき以上の人でした。

年男・年女の人たちで点火をすると、「オオッ」という歓声と共に大きな炎が上がり、熱気が伝わってきて、顔が痛く感じるほどでした。

豚汁やおしるこの振る舞いもあり、列も出来て大賑わいでした。

鬼火焚きを通して、多くの人々と一緒に何かを作り上げるのは、達成感があるなあと改めて思いました。4月からは中学生になるのでいろいろと忙しくなると思うけど、出来ればまた地域の行事に参加できたらいいなあと思いました。



### 記事を募集しています

始良校区コミュニティでは、年3回「コミュニティだより」を発行しています。校区内の様々な出来事を幅広くお知らせしていきたいと思っています。「こんなうれしいことがあった」「こんなすばらしい事があった」また、元気な高齢者の紹介や児童生徒のがんばれる姿も伝えていきたいと思っています。様々な情報をお寄せください。また、取材にもお伺いいたしますのでご一報くだされば係り方からお伺いいたします。みんなで充実した内容の校区コミュニティだよりを作っていきます。

連絡先 始良市西餅田3311-1 (始良市働く女性の家内) 校区コミュニティ協議会事務局

TEL 73-8389 (火、木、金) FAX 73-8395